

教育 実効性のある
学校の働き方改革を
市民ク

問 学校の教員不足が深刻である。時間外長時間勤務を強いる大きな要因である「教職調整額」を支給する代わりに時間外勤務手当を支払わないとする給特法の廃止を文部科学省に求めるべきではないか所見を問う。

答 給特法のあり方について は、文部科学省において適切に判断されるものと考えているが、見直しに当たっては、現在の教員の実態に見合った制度となるよう、他都市とも連携し要望していく。

※給特法
「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の略称

教育 学校給食費の無償化を
共産

問 物価高騰の中、教育費が子育て世帯の負担となっており、給食費の無償化は子どもの権利の問題であり、大人社会全体で保障すべきである。子育て世帯の負担を軽減するため、財政措置を行い学校給食費の無償化へ踏み出すべきと考えるが所見を問う。

答 学校給食費の無償化については、政府において課題の整理を行うとされており、その動向を注視するとともに、引き続き国に対して財政措置を要望していく。

教育 プログラミング教育の
教さらなる充実を
維新

問 子どもたちが変化する社会ニーズに合った「生きる力」を身に付けるために、プログラミング教育の充実と、第三者による検証や子どもへの調査を踏まえて内容を更新する仕組みが必要と考えるが所見を問う。

プログラミング教育を含め、教員が児童生徒一人一人の意欲や理解度を把握し、授業の改善に取り組みことは重要と考える。子どもの個別最適な学びの支援の充実と、客観的な根拠に基づく教育施策の立案に努めていく。

※プログラミング教育
コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動

問 現在、放課後児童クラブを夏休みなどの長期休業中に利用する場合は、弁当持参が原則となっている。昼食の提供は保護者の負担軽減につながり、働きやすさの一助になると考えるが所見を問う。

答 長期休業中の昼食の提供については、解決が必要な課題を研究することとしており、市民が安心して生み育て、子どもが健やかに成長していけるよう、子育て支援の充実にしっかり取り組んでいく。

教育 放課後児童クラブにおける
長期休業中の昼食の提供を
市民ク

問 長期休業中の昼食の提供に課題を研究することとしており、市民が安心して生み育て、子どもが健やかに成長していけるよう、子育て支援の充実にしっかり取り組んでいく。

答 長期休業中の昼食の提供については、解決が必要な課題を研究することとしており、市民が安心して生み育て、子どもが健やかに成長していけるよう、子育て支援の充実にしっかり取り組んでいく。

教育 新卒者への適切な指導・研修
教により教育の質の確保を
自民

問 教育の質を確保するために、新卒者等初任者が教員として早期に活躍することが重要である。新卒者の採用増加が当面続くことを織り込んだ指導・研修のあり方が問われていると考えるが、取り組み方針を尋ねる。

答 教育センターでの理論的な研修と、所属校で実践的な研修を体系的に進めており、さらに初任者がいつでも主体的に学ぶことができるオンデマンド動画も配信している。今後も初任者の育成にしっかりと取り組んでいく。

教育 外部人材を活用し、多様な
実践的な学習機会の拡充を
新風

問 キャリア教育の充実に向け、企業や民間団体などとの連携および協力体制の構築に努め、社会人講師の派遣をはじめ、多様な実践的な授業を全市的に展開してほしいが所見を問う。

答 子どもたちが将来に夢や希望を持ち、未来を創り出していくためには、外部人材を活用した教育活動は重要である。社会人講師の派遣にも引き続き取り組みながら、アントレプレナーシップ教育をはじめとした、キャリア教育の充実を図っていく。

自分の将来に夢や希望を持ち、新しいことにチャレンジしていく意識を育成する教育

教育 生徒一人一人の能力を最大化
する個別最適化教育の実現を
無所属

問 生徒が能力を最大限に発揮できる環境を整えることは我々大人の責務である。生徒一人一人の能力を最大化する個別最適化教育の実現が求められる今、将来を担う子どもたちの育成にどのように取り組むのか所見を問う。

答 個別最適な学びの充実については学びの改革の中心テーマの一つと認識。教師のサポートを受けながら、子どもたち一人一人が自立した学習者として学び続ける授業スタイルへと転換することが極めて重要と考えている。

教育 真のグローバル人材を
育成する教育を
無所属

問 海外と交流を深めていく上で大切なことは自国の文化を正しく理解することである。本市ではグローバル人材をどう定義し、育成に取り組んでいるのか。

答 グローバル人材とは、教育振興基本計画において、日本文化を正しく理解し、さまざまな価値観を認め合い、理解し合うなど、グローバルな社会で活躍できる児童生徒としている。福岡が輩出した人物、伝統的な行事や文化を学ぶなど、福岡の特性を生かした教育に取り組んでいる。

港 福岡空港の機能強化とともに
周辺地域との共生を
自民新

問 今後の福岡市を展望する上で、福岡空港の機能強化と周辺地域との共生は両輪で進めていくという観点が必要である。空港と地域が相互の発展に向けて、Win・Winの関係構築していくべきと考えるが決意を問う。

答 福岡空港は重要な公共インフラであり、利便性の高い空港として発展する一方、その円滑な運営は地域住民の理解と協力に支えられている。空港と周辺地域がともに発展していけるまちづくりに取り組んでいく。

経済 スタートアップ都市づくりの
検証を
維新

問 施策や事業を徹底的に検証し、施策の実態が当初の目的から外れてしまったものなどは

大胆に見直すべきである。福岡市がスタートアップ支援を始めた目的は何か。

スタートアップの支援については、新たなビジネスにチャレンジする人を応援し、創造的で先進的な人材や企業が世界中から集まることで、新たな価値を生み出し、都市の成長と生活の質の向上へとつなげることを狙っている。

社会福祉、保健衛生、住宅、
建築、都市計画、公園など

問 老人福祉センターの交通アクセス向上を

問 老人福祉センター利用者の利便性向上のため、各施設の立地状況にあわせ、可能な限りの交通アクセスの向上に取り組むべきである。交通アクセスについて利用者の声を聞くなど、調査を行うべきと考えるが所見を問う。

答 利用者の声については、利用する際の交通手段なども含め、各老人福祉センターにおいて毎年アンケートを実施している。あわせて指定管理者を通じて聞き取りなどにより、把握に努めていく。

保健衛生 人も猫も暮らしやすい、
いのち育むまちづくりを
無所属

問 野良猫については、住民トラブルなどの課題もある。市民ボランティアが熱心な取り組みをしているが、個人の力には限界があることから、人も猫も暮らしやすい、いのちを育むまちづくりについて所見を問う。

答 野良猫については、地域猫活動の支援を継続するとともに、今年度から不妊去勢手術推進モデル事業を実施する。今後地域、動物関係団体、ボランティアと連携し、人と猫の共生に向け取り組んでいく。

住宅 市営住宅に医療や介護送迎に
活用できる駐車場を
自民

問 市営住宅における予約制駐車場シェアリングと無料の駐車スペース設置の2つのモデル事業の実施に当たっては、関係者に積極的に周知し、利用状況などを踏まえ、全市的な取り組みを図るべきと考えるが所見を問う。

今回実施するモデル事業については、医療や介護の事業者に対し、関係団体と連携しながら広く周知を図っていく。また、全市的な実施については、同事業の課題等を検証しながら、可能なところから取り組んでいく。